

長崎大学文教キャンパスへのアクセス



長崎大学文教キャンパス



総合教育研究棟

長崎大学
多文化社会学部
スマホサイトへ



多文化社会学部
公式
YouTube



JRをご利用の場合

JR長崎本線「浦上駅」下車、その後、以下の路面電車もしくはバス利用

■浦上駅から路面電車をご利用の場合

「浦上駅前」から「赤迫（あかさこ）」行き乗車
「長崎大学」で下車（所要時間 / 約10分）

■浦上駅からバスをご利用の場合

「浦上駅前」から長崎バス1番系統「溝川」・「上床」・「上横尾」行き乗車
「長崎大学前」で下車（所要時間 / 約10分）



高速バスをご利用の場合

各地より浦上経由長崎方面行きバスに乗り、「昭和町」で下車、
その後、徒歩で長崎大学東門まで約15分あるいは長崎大学正門まで約20分



航空機をご利用の場合

長崎空港（大村市）4番乗り場から空港リムジンバス乗車

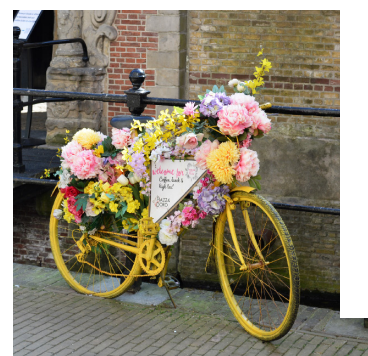
■長崎県営バス「昭和町・浦上経由」行き乗車

「長大東門前（ちょうだいひがしもんまえ）」で下車（所要時間 / 約40分）

多文化社会学部
公式
X（エックス）



多文化社会学部
公式
Instagram



NAGASAKI UNIVERSITY



国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

SCHOOL OF GLOBAL HUMANITIES AND SOCIAL SCIENCES

The School of Global Humanities and Social Sciences at Nagasaki University was established in 2014 to train individuals to acquire the skills, judgment, sensitivity and ability to take action as independent people who can survive globalization in the world of today.

多文化社会学部 2027

地域の視点から世界を俯瞰し、 グローバルな視点から地域を考える、 人間性豊かな人材を育成します。

育成する人材像

グローバル化する世界において、人文社会系諸分野の幅広い知識を基礎として、社会的・文化的・言語的多様性の観点から、その意義を理解できる。

英語を中心とした高度な外国語運用能力を有し、グローバル化する世界の多文化状況において、円滑にコミュニケーションおよびプレゼンテーションを遂行できる。

多文化社会が抱える様々な課題や現象について、適切なデータ・史資料の収集・分析、課題の発見・整理、調査の企画や実行を行うことができる。

多様な人々と共生的な関係を築き、問題解決に向けて、パートナーシップやリーダーシップを発揮して行動できる。

未来の多文化社会に向けての知的航海 未来につなぐ人文学の〈知〉と社会科学の〈理〉

混迷か、融合か、衝突か、摩擦か、許容か、あるいは包摂か、私たちは「多文化社会」の未来に何を見られるでしょう。新型コロナウイルスの脅威をおおよそ全人類で共有し、地球の一体化を実感した後、世界の地域で戦争や紛争がやむことなく続いています。地球の一体化とは裏腹に世界は分断され、むしろ混迷をより深めていると言ってもいいでしょう。

人間の文化は多様であるゆえに豊かであり、それぞれの文化が融合し、さらに新たな展開を迎えていく。そうやって我々は豊かな文明を築いてきました。一方で異なる文化や文明が接触することで生じる摩擦熱を私たちは制御できていません。それは国家間レベルだけではなく、身近な社会のレベルでも起きています。豊かで理想的な多文化社会を築くには私たちはまだまだ未熟であると言わざるをえません。そのため、私たちはよりよく人間を学ばなくてはならないのです。

「人間は考える葦である」フランスの思想家パスカルの言葉です。自然のうちで最も弱い一本の葦にすぎないが、しかしそれは考える葦である。思考の大切さを説いたものと言われます。思考こそが人間の本質ということでしょう。

しかし、すでにもう人間は弱い「葦」ではありません。「人新世」という時代区分が提唱されています。地質時代の中に「人類の時代」を設定しようという考えです。もはや人間は核兵器を持ち出すまでもなく地球の環境そのものに多大な影響を与える強い存在

となっています。

その強さを正しく制御するために、科学技術の進歩以上に高度な思考を続けなければなりません。しかし、思考する役割においても、今や人間とAI（人工知能）の境界がとても曖昧になってきています。このままだと境界を越えて本質も侵食され、人間は思考の歩みを減速させてしまうかもしれません。人間とは何か、社会の役割は何か、改めて強く問われています。

多文化社会学部では、人間とその社会を知るために人文学の知と社会科学の理を学びます。国際公共政策、社会動態、共生文化、言語コミュニケーションの4コースに加え、オランダに特化したコースを持ち、さまざまな切り口と道すじで世界を学んでいきます。

その学び方はさまざまです。ひたすら文献を読み込むこともあれば、フィールドの中に身を置くこともあります。あるいは徹底的に議論することも必要でしょう。そうした学びの作法と知識を身にまとい、英語を主とした言語という最も効率的な相互理解のツールを携えて、未来のよりよき多文化社会に向けて、知的な航海を始めるのです。

よりよく人間を理解し、多様性に対する包容力をもった人文系グローバル人材の輩出、それがこの国で唯一、多文化社会学の名前を冠したこの学部の使命と考えています。ともに学び、思考を深めて未来のよりよき多文化社会を築きましょう。



学部長 野上 建紀

2014年4月より長崎大学多文化社会学部へ赴任。2025年4月より多文化社会学部学部長へ。

専門は歴史考古学。
近世の陶磁器貿易に関心を持つ。

「ローカル」から「グローバル」を目指す

世界を学びのステージにする

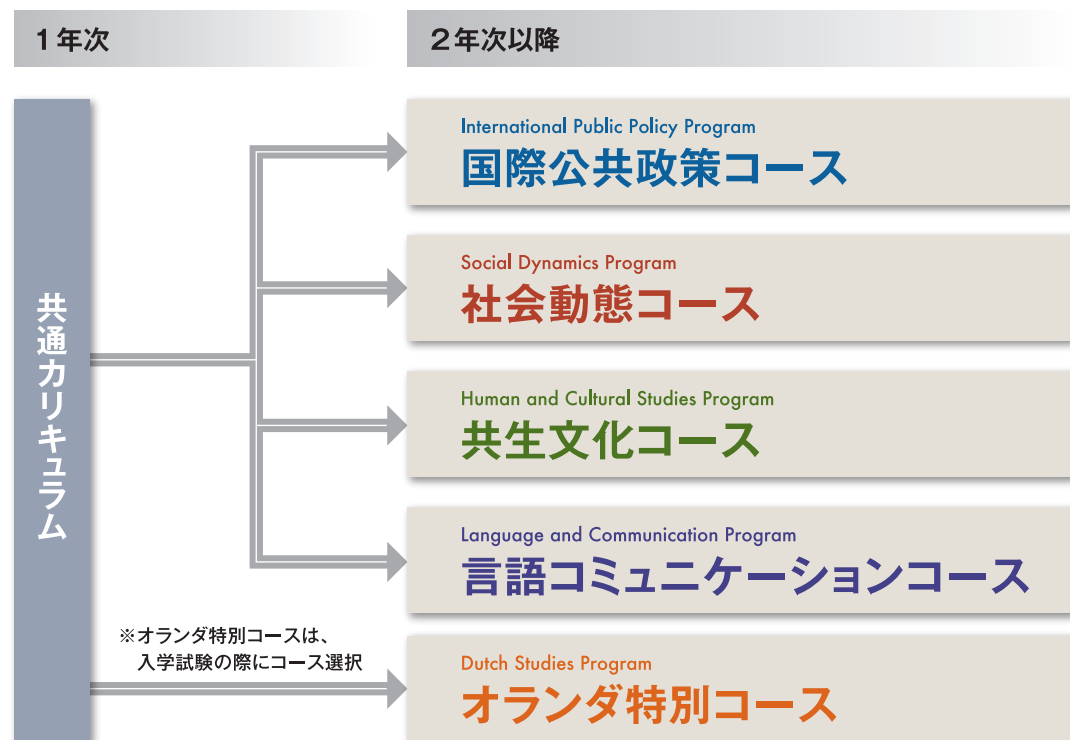
特色ある5つのコース

国際社会が抱える様々な課題を分析する国際公共政策コース、人・モノの動きから世の中をとらえる社会動態コース、多様な文化の理解から共生を考える共生文化コース、適切な言語運用の力を身につける言語コミュニケーションコース、そして、オランダを切り口に現代の欧州を学ぶオランダ特別コースの5コースで構成されています。自分が学びたいコースに進み、目標に向かってチャレンジしてください。

国際公共政策コース、社会動態コース、共生文化コース及び

言語コミュニケーションコースについては、1年次終了時にコースを決定します。

※指定された科目を修得した場合は、オランダ特別コースを選択することも可能



取得できる免許・資格

高等学校教諭
一種免許状
(英語)

言語コミュニケーションコースの学生に限り、教育職員免許状取得に必要な科目の単位を全て修得することで、卒業時に「高等学校教諭一種免許状(英語)」を取得することができます。ただし、3年次以降に中長期留学を行う場合、4年卒業での免許状の取得ができません(最低でも5年卒業)。

日本語教員
養成プログラム

多文化社会学部の日本語教員養成プログラムの所定の単位数を取得し卒業する場合、卒業時に修了証が交付され、登録日本語教員になるための日本語教員試験の基礎試験と実践研修が免除されます。このプログラムは、どのコースの学生でも履修可能ですが、言語コミュニケーションコースを選択した場合、最も円滑に履修できます。

※学芸員資格取得プログラムを令和9年より開始できるよう準備中です。

Visit our
website
for details



沖縄県営平和祈念公園にて

International Public Policy Program

国際公共政策コース

国際社会で発生する様々な課題に
政治学・法学・経済学
などを通して取り組む

現代世界には、紛争や軍縮、人権侵害、貧困や開発、法の支配、保健・衛生など、国境を越えた複雑な政策課題があふれています。これらの難問の解決に挑む、グローバルな知識と実践的能力を備えた人材を育成します。

Student's Voice



学術的・実務的な視点を
バランスよく学べる環境

高橋 知裕 4年

宮崎県立宮崎南高等学校 出身

かつて特攻基地だった空港のある地域で生まれ育ち、様々な平和学習に取り組んできました。平和について考える上で国際政治をもっと勉強したいと考えようになり、入学時から国際公共政策コースに強い関心がありました。「国際政治学」の講義では具体的な国同士の関係や理論について学習。国際情勢の背景にも目を向けられるようになりました。また国連や外務省などの組織で実際に働く方を招いた講義もあり、積極的に参加。文献や資料をもとにした学術的な視点とは異なる、現場の最前線の立場からの実務的な視点に触れられて、視野を広げることができました。いつかそうした方たちと肩を並べて活躍したいと憧れるようになり、現在は国家公務員を志望しています。

国際公共政策コースは目的や関心がハッキリした学生が多く、一緒に学び議論する中でとても刺激を受けられます。特に留学生と国際政治について話すと、価値観や考え方の違いを感じられて興味深いです。そして多彩な専門分野に精通した先生から指導を受けられるのも大きな魅力だと思います。



唐人屋敷跡にて

Social Dynamics Program

社会動態コース

現代社会のダイナミズムを
社会学・文化人類学・民俗学などの
知見を深めて読み解く

グローバル化した世界では、ある場所で発生した小さな変化が遠く離れた場所で思いよりぬ影響を及ぼすことがあります。このようなダイナミズム(動態)を、主にフィールドワークを通して読み解く能力を身につけます。

Student's Voice



戦時中の体験をテーマに
ライフヒストリーを研究

末次 七菜 3年

佐賀県立致遠館高等学校 出身

小さい頃に曾祖母の戦争体験を祖父から聞いたことで当時の暮らしに興味を持ち、身近な文化や生活から平和についての学びを深めたいと考えて、多文化社会学部の社会動態コースを選択しました。文化人類学や宗教学基礎の講義では、学生同士がグループを組んでディスカッションする機会が多く、いろんなテーマで意見を交わす中で自分の視野が広がりました。私は歴史社会学を専門とする先生のゼミに所属して、現在は先輩の研究や過去の論文から基礎的な知識を学んでいます。今後の卒業研究では、戦時中に朝鮮へと渡った方のライフヒストリーを調査する予定で、これからフィールドワークとして実際に聞き取りを行っていきたいと考えています。研究のテーマ設定などでは、同じゼミの先輩からのサポートが心強かったです。

社会動態コースには、文化や歴史、社会など、様々な分野に興味のある学生が集まっています。身近な切り口から専門科目を学びながら、自分が追求したいテーマを少しずつ定めていくことが可能なコースなので、学びたい分野が幅広い人にも向いているコースだと思います。



Human and Cultural Studies Program

共生文化コース

共生社会の基礎となる文化の理解を
哲学・宗教学・文化研究・歴史学
などによって深める

思想・宗教・表象・メディア・歴史などの幅広い見識を身につけることで、多様な文化的背景をもつ人々が同じ空間に共生する現代社会において、その基盤となる文化についての理解を深めます。

Student's Voice



幅広い分野の学びから
新たな興味が湧いてくる

森田 南風 3年

長崎県立西陵高等学校 出身

多文化社会学部ではグローバル社会を構成する様々なテーマについて学ぶことができますが、共生文化コースでは特に幅広いトピックスに触れる機会があります。映画やドラマ、マンガといった身近なコンテンツから表象について学ぶ講義では、SNS社会における情報の取捨選択の必要性を実感。中国の思想や移民の歴史について学ぶ講義もあり、多種多様なバックグラウンドを持つ人が社会にいることを理解するきっかけとなりました。また私は倫理学に興味があり、ゼミ活動では様々な文献や先行研究をもとに学生同士で意見を交わしています。答えが一つではないからこそ、いろんな人の考えを聞くことが毎回楽しいです。

共生文化コースで学べる分野は多種多様で、最初は何を選択するか迷うこともありましたが、講義がきっかけで新しい分野への興味が湧くことも多く、視野を広げるきっかけが生まれています。そしてどの講義も人について考えるという共通点があります。将来の進路はまだ漠然としています、マイノリティな立場の人を支えられるような仕事に就きたいです。



Language and Communication Program

言語コミュニケーションコース

言語の個性性と普遍性および
言語と文化の関わりを
言語学の諸分野を通して幅広く学ぶ

英語・日本語を中心とした言語学、言語教育、コミュニケーション論を通じて、多文化社会における言語の個性性と普遍性および言語と文化の関わりを実践的に学びます。

Student's Voice



高校までに学んだ英語の
認識が変わるような講義

北山 菜穂 3年

学校法人前田学園 鹿屋中央高等学校 出身

入学時は学びたい分野が漠然としていましたが、1年次に幅広い講義を受ける中で、英語のコミュニケーションや言語の成り立ちについてもっと知りたいと考えようになりました。「英語のしくみと意味」という講義は、高校までに習った英語文法や言語の歴史を深く学び直す内容で、これまで当たり前だった認識が変わるような新鮮な内容でした。将来は高校の英語教員になることが目標で、専門科目に加えて教職科目も並行して受講。アルバイトやサークルも忙しい中、少しでも時間を有効活用するために、日々のスケジュールを細かく管理しています。

国際交流サークルでの活動から英語を使った異文化交流に関心を持ち、これから中長期留学にも挑戦する予定です。海外で学んだ知識や経験を、いつか子どもたちへの指導に役立てたいと思います。多文化社会学部は英語を軸に様々な分野について学べるので、私のように入学時は専門分野が定まっていない学生にも向いています。特に言語分野に興味がある学生には、言語コミュニケーションコースをオススメしたいです。



史跡「出島和蘭商館跡」にて

Dutch Studies Program

オランダ特別コース

オランダ語文化圏の理解を通して
世界・ヨーロッパ・日本
などについて多面的に学ぶ

オランダ語文化圏について、人文社会科学の様々な角度から学ぶ日本に唯一のコースです。オランダを出発点にヨーロッパや世界の状況、日本との関わりについて学ぶことで、国際的な視野をもった人材を育成します。

Student's Voice



個性的な仲間たちと学び
進路の可能性を広げる

加藤 柚貴乃 4年

北海道札幌月寒高等学校 出身

どちらもマイナーな言語を学んだ両親の影響で海外の人との会話に興味を持ち、大学では新しい環境で新しい言語にチャレンジしてみたいと考えてオランダ特別コースを選びました。英語とオランダ語は共通点もある一方、発音や文法が大きく違い慣れるまで苦労しましたが、オランダ語ネイティブの先生が細かい部分も丁寧に教えてくださり上達しました。またライデン大学からのオランダ人留学生と交流する機会が豊富で、日本にいながら現地の若者の言葉や文化に触れることができました。これからライデン大学に留学してさらにオランダ語のスキルを向上させるのはもちろん、日本で学んできたオランダの歴史や社会を改めて学び直して理解を深めたいです。

オランダ特別コースには、様々な地域から様々な目的を持った学生たちが集まっています。個性的な仲間たちと一緒に学び交流するのは本当に楽しく、このコースを選んでよかったと感じます。そして卒業後の進路の幅が広い分、自分自身の学びをどう活かすのか、いろんな可能性があると思います。

Leiden University
ライデン大学

オランダ特別コースの学生は、入学後多文化社会学部でオランダの言語、文化交流、歴史などを学びます。更に、3年次後期から1年間ライデン大学への長期留学が義務付けられ、専門性を深めていきます。

ライデン大学はオランダで最も古い大学であり(1575年設立)、デカルトやスピノザ、アインシュタインなど数多くの著名な学者が学びました(ノーベル賞受賞者16名)。世界で最初に日本学科が設立された大学でもあり、日本研究ではヨーロッパ屈指の歴史と研究実績を誇ります。現在でも人文社会科学の分野では世界的に高い評価を受けています(THE世界大学ランキング2026人文科学18位)。

また、ライデン大学の位置するライデン市はシーボルトのコレクションを展示した日本博物館が所在するなど、文化的刺激に満ちた街です。

Message

1年間の留学期間で
将来の目標が明確化

齋藤 朗子 4年

千代田区立九段中等教育学校 出身

現地でオランダ語の会話についていくのは難しく、慣れるまで苦労しましたが、日本学科のオランダ人学生と交流するクラブ活動が支えになりました。様々なゲームやパーティを楽しみながら互いに日本語とオランダ語を教え合う中で少しずつ会話力が身につき、上達を実感できるのが嬉しかったです。またオランダ語を生活の中で実際に使うことで、現地の方とより親密に交流することができました。留学期間中は自由な時間も多く、自分の進路をじっくり考える良い機会となりました。もともと伝統産業に携わる仕事がしたいと考えていたところ、日本の藍染めを紹介するドキュメンタリー番組の上映イベントに参加。オランダの方が強い関心を見せていることを実感して、将来は日本の伝統産業を広く発信する仕事を目指すようになりました。留学中は理想に学力が追いつかずもどかしい時期もありましたが、それも含めて良い経験になりました。うまくいくこともいかないことも含めて、1年間というまとまった期間の留学だからこそできた貴重な経験だと思います。

現地学生との交流から
会話力を高めていく

稲田 練之祐 4年

青稜高等学校 出身

日本の美術館でゴッホの作品を観たことがきっかけでオランダ特別コースに入学。留学中はいろんな美術館に足を運び、教科書に載っているような有名な作品を直接見る事ができました。またオランダ美術に関する講義を選択し、これまで知らなかった作品や作家についても学びました。事前にオランダ語の勉強はしていたものの、現地で日常会話を理解するのは難しかったです。会話力を身につけるため、日本で仲良くなったライデン大学の交換留学生とよく話していました。また寮のルームメイトとの交流を通して、多種多様な価値観に触れる貴重な経験ができました。帰国後も連絡を取り合い、良い関係を継続したいです。

留学前に日本や世界の動向を知っておくことはとても大切だと思います。社会への関心や知識があることで、現地で見たり聞いたりしたことが身になりますし、留学自体をより一層深く楽しめます。今後は留学を通して得た経験や視点を何らかの形で発信するような活動に挑戦し、理想とする社会に向けて自分なりに働きかけていきたいです。



稲田さん(中央)

多文化社会学部の学びのシステム

語学力を徹底的に強化し、人文社会系諸分野を「多文化社会」の観点から再編・統合した学際性に富むカリキュラム

1年次		2年次		3年次		4年次			
学びの領域		世界で生起している様々な問題を読み解くための、 多文化社会学の入門的知識を幅広く学びます。		各専門分野の基礎を領域横断的に学びつつ、 関心を絞り込んで卒業までの学びをデザインします。		専門分野の理解を深めると同時に関連分野へ視野を広め、 卒業研究のための基礎を固めます。		入学からの学びの集大成として、 自ら設定した卒業研究のテーマに取り組みます。	
	短期留学	短期留学	中長期留学						
	入門講義		基礎講義		専門講義				
	多文化社会学の諸問題 国際公共政策入門(政治) 国際公共政策入門(法) 国際公共政策入門(経済) 社会学入門 人類学・民俗学入門 歴史学入門 文化研究入門 思想・宗教研究入門 言語コミュニケーション入門 オランダ・ヨーロッパ研究入門		軍縮論 国際関係基礎(政治史) 国際関係基礎(政治思想) ジェンダーと人権 国際法 ミクロ経済学 社会理論基礎 家族社会学基礎 教育社会学基礎 歴史社会学基礎 倫理学基礎 文化人類学基礎(観光) 文化人類学基礎(民族誌) 文化人類学基礎(生態・社会) 文化人類学基礎(民俗学) 文化人類学基礎(移民) アフリカ地域研究基礎 歴史学基礎(日本) 歴史学基礎(ヨーロッパ) 歴史学基礎(文化交流) 歴史学基礎(考古学)	思想史基礎(ヨーロッパ) 宗教学基礎 文化研究基礎(表象) 文化研究基礎(メディア) 言語学基礎A 言語学基礎B 英語の発想と表現A 英語の発想と表現B 日本語学基礎A 日本語学基礎B 応用言語学基礎A 応用言語学基礎B 日本語教育学概論 現代中国社会論基礎 中国文化論基礎	国際政治経済論新規 核軍縮不拡散政策論 EU法 国際政治学 比較政治学 開発経済学 国際人権論 計量経済学 アジア法 国際社会学 異文化理解教育 境界文化論 異文化と家族 現代アジア社会論 陶磁考古学 グローバル文化交流史 ヨーロッパ近現代史	異文化交流論 文化資源論 地域生態論 倫理学 思想史 宗教文化論 文化表象論 映画論 メディア・スタディーズ 地域史料論 アメリカ文学論 異文化間コミュニケーション 英語音声のしくみと働き 英米文学概論 応用言語学 コーパス言語学 対照言語学(日英) 第二言語習得論 日本語学			
	多文化社会について学ぶ								
	多文化社会を理解するための知識を、入門・基礎・専門の講義を通して段階的に学びます。			オランダ・ヨーロッパ地域論 日蘭比較文化 I	日蘭比較文化 II オランダの政治と外交 オランダ社会と教育	日蘭交流史 オランダ語の特質	ライデン	大学留学	
キャリアについて学ぶ	キャリア科目	企業研究	キャリア形成論	国際インターンシップ					
実践的な調査研究手法を学ぶ	演習科目	基礎演習 I	基礎演習 II	専門演習 I	専門演習 II	卒業研究			
	初年次セミナー				特別研究	(オランダ特別コース)			
	リサーチ科目	リサーチ基礎(表象) リサーチ基礎(サーベイ) リサーチ基礎(アーカイブ)	フィールドワーク実習	リサーチ基礎(インタビュー、参与観察) リサーチ基礎(映像)					
外国語コミュニケーションを学ぶ	英語モジュール	IELTS Reading and Writing I Reading and Writing II	英語のしくみと意味 I Academic Writing I Reading and Discussion I	英語のしくみと意味 II Academic Writing II Reading and Discussion II	Debate				
	総合英語 I,II,III 英語コミュニケーション I,II,III								
	オランダ語科目	オランダ語 I オランダ語 II	オランダ語 III オランダ語 IV	オランダ語 V					
	初習外国語 I 初習外国語 II		中国語総合表現 I 初習外国語 III	中国語総合表現 II 初習外国語 IV					
幅広い知識と技法を学ぶ	ミュージアム・講演ラリー 大使館連続講義 情報リテラシー入門 応用情報処理 データサイエンス概論 統計学概論 プラネタリーヘルス入門	ジャーナリズム論 I,II 寄附講座:アジア共同体講座	キャリア実践	プラネタリーヘルス II 科目					

高い語学力は学びの軸であるとともに 多文化社会で活躍するための大切なツール

多文化社会学部では、現代社会の様々な分野でグローバル人材として活躍するための不可欠なツールとして、語学力を重要視しています。とりわけ、英語力の徹底強化を目的に、系統的な英語力養成プログラムを実施しています。専門知識の習得と同時に、グローバルな多文化社会で活躍するためのスキルとして、「高度な語学力」、「学術的な英語力」の獲得を目指すことが、多文化社会学部のプログラムの大きな特徴です。

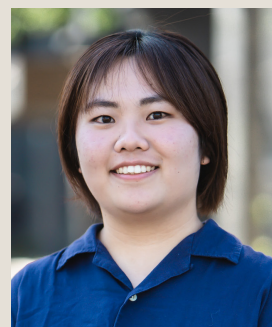
系統的な英語力養成プログラム

多文化社会学部では、英語力の徹底強化に向けて、段階的に目標値を設定した、英語力養成プログラムを実践しています。右ページで詳説するKEY Programを中心に、短期留学の実施、中長期留学の推奨（オランダ特別コースは必修）、基礎・専門講義科目の英語での開講等の取り組みを行っています。また、英語力の伸長状況を着実に測定できるように、TOEFL ITP（学部費用負担制度あり）及びIELTSを学内で定期的の実施しています。



Student's Voice

人とのコミュニケーションを重視した英語学習



嶋田 藍 2年

長崎県立佐世保南高等学校 出身

将来の目標である英語教員の資格取得を目指しながら、グローバルな文化について学べることが決め手となり、多文化社会学部を選択。最初は英語開講の講義に対する不安もありましたが、それ以上に英語を学ぶ楽しさや理解できた時の喜びが大きく、モチベーションに繋がりました。高校までの英語学習は受験対策が中心で、覚えることが第一という印象でした。一方大学の英語学習は、人とコミュニケーションすることを大切にしている、普段から英語を話す機会が増えたことでスピーキング力が大きく向上しました。先生方の人柄も良く、一緒に学ぶ学部の仲間たちの存在も励みになっています。

1年次にフィリピンでの短期留学に参加。現地で仲良くなった友人たちのことをもっと知りたいという気持ちが、英語学習の大きな原動力となりました。今後はもっと長い期間の留学にも参加したいと考えていて、IELTS対策の科目を積極的に受講。コーチングフェローの方の面接指導がとても役立っています。他にもライティングの添削など、学生ごとのニーズに合わせたサポートが受けられます。

英語力のトレーニング



KEY Program Academic English for Unlocking Futures 高度で学術的な英語力の養成

KEY Programは、「高度な英語力」「学術的な英語力」を養成するために開発された、体系的な英語語学プログラムです。従来型の技能別科目ではなく、英語発信力の向上をより重視した技能統合型科目で編成されています。このプログラムで提供される12科目を3年間集中的に受講することで、世界で通用する実践的な英語運用能力を習得し、グローバル社会へのドアを開くKEY（鍵）を手に入れることを目指します。具体的には、英語コミュニケーションへの関心・意欲を重視し、「英語を用いて〇〇ができる」ことを目指し、英語による批判的思考（Critical Thinking）や問題解決能力（Problem Solving）を向上させます。このことにより、特に、英語で開講される専門科目を受ける力、英語圏で中長期留学を行う力の養成を図ります。



IELTS/TOEFL iBT 対策サポート

英語四技能検定試験を見据えた個別指導

中長期留学を行うためには、英語四技能検定試験であるIELTS又はTOEFL iBTにおいて、規定のスコアを取得する必要があります。英語四技能検定試験において、個人での対策が難しいのは、スピーキングとライティングです。多文化社会学部では、IELTS/TOEFL iBT対策サポートを設けており、経験豊富な講師陣が担当するスピーキング・ライティングに関する個別指導を受けることができます。

多文化ラウンジ

フリースペースを活用して語学力アップ!

多文化社会学部の学生さんが自由に使えるスペースで学生同士、あるいは留学生や教員との交流スペースとして活用できます。学生同士でスピーキングの練習をしたり、留学生と英会話をしたりすることで、語学力向上のための実践的な活動を行うことができます。また、ラウンジでは、定期的に行われる多文化コミュニケーションコーナーに参加したり、IELTSやTOEFLを中心とした検定試験関係の書籍や多読用の書籍を借りることもできます。



異文化への理解を深めるために留学を推奨している長崎大学。そのなかでも多文化社会学部では、短期・中長期留学やフィールドワーク実習（海外）等、さまざまな形で海外で学ぶプログラムを設定しています。英語をはじめとする語学力の向上を目指すだけでなく、世界を舞台に多文化社会学の専門性を深めることを目的としています。

短期留学

多文化社会学部では、英語能力の向上と異文化交流への関心を高めることを目的に、夏季（9月）又は春季（3月）の4週間程度、ホームステイや現地学生との交流を経験しながら、海外大学との連携に基づくプログラムを提供します。留学前には複数回のオリエンテーションを開催し、現地の事情を学び、安全についての意識を身につけます。過去に実施した短期留学では教職員が旅程の一部を引率して留学生生活をサポートしました。過去の実績は次のとおりです。プログラムの内容および奨学金の給付額は変更する可能性があります。

◆ 短期留学これまでの派遣先

年度	時期	国	大学	期間	費用
2023	夏季	フィリピン	デ・ラ・サール・アラネタ大学	5週間	55万円
		マレーシア	マレーシア大学サバ校	5週間	30万円
	春季	フィリピン	デ・ラ・サール・アラネタ大学	5週間	76万円
		カナダ	カルガリー大学	5週間	56万円
2024	夏季	フィリピン	デ・ラ・サール・アラネタ大学	5週間	57万円
	春季	カナダ	カルガリー大学	5週間	89万円
2025	夏季	フィリピン	デ・ラ・サール・アラネタ大学	3週間	43万円
	春季	フィリピン	デ・ラ・サール・アラネタ大学	3週間	44万円
		カナダ	カルガリー大学	4週間	80万円
2026	夏季	フィリピン	デ・ラ・サール・アラネタ大学	5週間	61万円
		マレーシア	マラヤ大学	3週間	45万円

◆ プログラム参加費用（実績）約50万円～

※代金は変動する可能性があります。

エコノミークラス利用往復航空券、航空保険料・燃油費、日本・現地空港諸税、現地空港～大学の往復送迎費、宿泊費、授業料・研修費、食費（一部）

※その他、個人で負担・支払いをする費用（一部を例示します）：超過手荷物料金、海外旅行保険、長崎又は福岡空港までの往復交通費、その他個人的生活諸費用

Visit our website for details



Message

英会話を実践する豊富な機会

岡本 実来 2年 兵庫県立三木高等学校 出身 留学先：フィリピン／デラ・サール アラネタ大学

語学学校の授業は個人レッスンとグループレッスンが半分ずつで、英語のリスニング・スピーキング・ライティングを満遍なく学習します。最初は英語で英語を学ぶのが難しくもどかしさを感じていましたが、コツコツ継続する中で語彙力が着実に向上して、日常会話や授業を理解するスピードが早くなりました。毎週のエッセイの課題も、時間はかかりましたが英語の文章力の向上に役立ったと思います。また学校内では英語だけでコミュニケーションしなければならぬルールがあり、そうした環境から自然とモチベーションが高まり、寮で同室の日本人学生とも英語だけで会話するようにしていました。

授業のない日は学外でのボランティア活動に参加して、現地のスラム街などを訪問。食事を提供したり一緒に遊んだりする中で、日本では当たり前だった環境や生活との違いを目の当たりにしました。今後はさらに英語力を高めて、中長期留学でもう一度フィリピンに留学したいです。短期留学は費用や期間の面でも参加しやすく、1年次という早い段階で経験できることも有意義だと思います。



国立自然史博物館



フィリピン、韓国、日本の文化交流の様子（岡本さん左）

期間：1 ヶ月間 宿泊先：学生寮 奨学金：長崎大学海外留学奨学金（9万円） 支出：約50万円



最終日に撮った友人との写真（岡本さん左）



マニラ大聖堂

フィールドワーク実習（海外）

※令和5年度は新型コロナウイルスの影響で実施されませんでした。

フィールドワーク実習（海外）では、アジアやアフリカなどからフィールドを選定し、他者と出会い、相互作用する中で、グローバル時代の社会人として必要な実証と理論の力を高め、同時に多分野横断的な学びを実現することができます。令和6年度は韓国、ベトナム、台湾で、令和7年度は中国、台湾でフィールドワークを実施しました。

Message

台湾における様々な言語の使われ方を聞き取り調査

古賀 愛加 2年 佐賀県立致遠館高等学校 出身 実習地：台湾

もともと社会と言語の繋がりに関心があり、ゼミの先生のアドバイスから国立嘉義大学の交流プログラムに参加。中国語や現地の文化について学びながら、台湾の多種多様な言語についてのフィールドワークに取り組みました。実際にどのような言語がどのように使い分けられているのか、現地学生やチューターに英語や日本語を駆使して聞き取り調査を実施。地域や世代によって言語の捉え方や使われ方が異なりましたが、若い世代からは伝統的な言語を継承することへの強い意識が感じられました。また台湾の公共交通機関のアナウンスでは、日本以上に様々な言語が使われてたことも印象的でした。

初めてのフィールドワークでしたが、現地に足を運び対面で聞き取りを行ったからこそ、言語ごとの発音の違いやニュアンスまで知ることができ、充実した調査となりました。今後も学部専門的な講義と日本語教員養成プログラムを両立しながら、いろんな場所を訪問してフィールドワークを重ねていきたいです。

期間：約2週間 宿泊先：学生寮 奨学金：なし 支出：約20万円



国際インターンシップ

多文化社会学部では、国内インターンシップの支援のほか、学部独自の英語圏・非英語圏双方の海外インターンシッププログラムを提供しています。英語と現地語を実際に使用しながらの海外現地生活を体験し、多様な文化と人々との触れ合いにより、グローバル社会を生き抜くための経験的知識の獲得を目指します。

Message

海外で働くことのイメージが明確化

堀込 美紗輝 4年 群馬県立高崎女子高等学校 出身 インターンシップ先：フィリピン／マクタン・セブ国際空港

チェックインカウンターでの案内や搭乗出入口でのチケット照合、手荷物の確認など、実際の運行に関わる業務は大きな責任とやりがいがありました。私は韓国の航空会社の担当で、英語での案内が通じない場面もありましたが、身振り手振りも駆使しながらなんとかコミュニケーションが取れた時は嬉しかったです。また現地スタッフと英語で会話する際、互いに母国語ではないので最初は聞き取りに時間がかかりましたが、少しずつ慣れていきました。

期間中に出会った現地のフィリピン人学生はとにかく陽気で、退勤後にお店を案内してくれたり、郷土料理を手作りしてくれたり、本当にやさしい人ばかりでした。以前からいつか海外で働きたいと思っていましたが、もっとフィリピンやアジアの国のことを知りたくなりました。まだまだ自分の将来像は漠然としていますが、インターンシップがこれから模索する上で大きな判断材料になったと感じます。これから半年間のイギリス留学を予定しているの、これまでの海外経験とともに卒業後の進路選択に繋げていきたいです。

期間：14日間 宿泊先：現地アパート 奨学金：田添グローバル交流推進基金奨学金（7万円） 支出：約10万円



堀込さん（左から2番目）

中長期留学

中長期留学は、語学力の向上にとどまらず、学部で学んだ専門知識を土台として、留学先においてさらに専門性を深めることを目的としています。大学間の学術交流協定に基づく交換留学として実施されるため、学生は長崎大学に学費を納入し、長崎大学に在学したまま半年から1年間留学することになります。

- ・留学するためには、定められた時期までに語学力及び学業成績に関する一定の学部内要件を満たすとともに、学内選考に合格することが必要です。
- ・「オランダ特別コース」の学生は、1年間のオランダ留学が必須となります。その他のコースの学生にも中長期留学を強く推奨します。
- ・留学先で修得した単位は、授業内容・レベル・形態の観点から精査し、長崎大学で開講している科目の単位として認定します。そのため、中長期留学に参加した場合でも4年間で卒業することも可能です。

留学奨学金

長崎大学では、中長期留学に係る費用の一部を支援することを目的として、海外留学奨学金制度を整備しています(受給できる人数には限りがあります。また、予算の都合により今後変更される場合があります)。また、様々な外部団体の奨学金制度を活用できるように支援しています。

なお、奨学金を受給するには、学業成績や家計基準など一定の基準を満たす必要があります。
※受給できる人数には限りがあります。また、予算の都合により今後変更される場合があります。

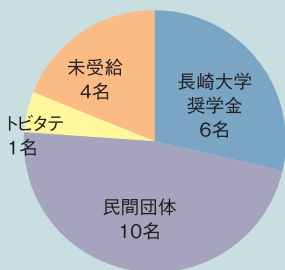
◎日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度(協定派遣)(給付型)
最大12ヶ月間、月額8～12万円(留学地域により異なる)

◎長崎大学海外留学奨学金(給付型)
最大3ヶ月間、月額6～10万円(留学地域により異なる)

◎トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム(給付型)
単位取得を目的とした留学だけでなく、インターンシップやフィールドワークなど、自分で組み立てた留学計画を支援。奨学金(最大12ヶ月間、月額12～16万円(留学地域により異なる))、留学準備金、授業料などの支援あり。

◎業務スーパージャパンドリーム財団奨学金(給付型)
最大12ヶ月間、月額15～20万円(留学地域により異なる)

2025年度 派遣学生(21名)の受給実績



留学サポート体制

多文化社会学部では留学相談室を設置し、留学に関する必要な情報を提供しています。留学先の決定や渡航手続き、履修科目の選択等、留学に関する疑問や不安は、海外経験が豊富な留学コーディネーターに相談することができます。

学生が海外留学に出発する前には、危機管理等に関するオリエンテーションを実施しています。留学中は、指導教員等が随時電子メール等で学生の修学・生活相談に応じるほか、留学先大学の担当者とも密に連絡を取り合い、学生の状況を把握するとともに、学部内での情報共有とトラブルへの対応に当たっています。

また、長崎大学は留学生危機管理サービス(OSSMA)への加入も推奨しています。



オリエンテーションの様子

Message 中長期留学に参加した在学生からのメッセージ

イギリスならではの英語を体感

高畠 萌英 4年 長崎県 出身

留学先: イギリス / アバディーン大学

アメリカとイギリスの英語の違いに興味があり、言語コミュニケーションコースを選択。実際に現地でイギリス英語を学んでみたいと、言語学系の講義が充実したスコットランドの大学に留学しました。現地で使われる英語は予想以上に訛りが強く、最初は聞き取ることさえ難しかったものの、講義の録音を何度も聞き返したり現地学生とディスカッションする中で徐々に慣れていきました。イギリス国内でも世代によってアクセントに対する認識が異なり、同年代の若者から等身大の声を聞くことができたのは貴重な経験になりました。また国際色豊かな寮生たちとの交流も盛んで、キッチンで料理をシェアすることもありました。

将来は英語力を活かせる仕事に就きたいと考えて、3年次から就職活動を開始しました。留学準備と並行しながらオンラインの企業説明やインターンシップに参加。ある程度目処をつけた上で留学することで、現地での勉強や生活に集中することができました。まとまった期間の留学は、自分の興味や目的意識がハッキリしていることより一層有意義なものになると思います。

履修科目: 3科目 住居: 学生寮 奨学金: 長崎大学海外留学奨学金(11万円/月) 支出: 約20万円/月



現地の貧困問題に継続的に取り組む

松尾 咲希 4年 長崎県 出身

留学先: フィリピン / フィリピン大学ディリマン校

1年次の短期留学でフィリピンに滞在し、現地のスラム街支援のボランティア活動に参加。貧困問題に対する学びをさらに深めたいと、3年次の夏から1年間フィリピン大学に留学しました。現地ではコミュニティ開発学や社会学といった講義を選択し、現地の学生とのディスカッションやグループワークに加えて、スラム街での聞き取り調査や支援団体のセミナーにも取り組みました。さらに貧困支援のボランティア団体を自ら主催して、他の留学生を巻き込んだイベントを毎週のように開催。まとまった期間継続して活動することで、スラム街の子どもたちと信頼関係を築くことができました。また現地で様々な経験を重ねる中で貧困問題への理解が深まり、現地で暮らす人にとっての本当の幸せが何なのか、改めて考えるようになりました。

4年間での卒業を目指して留学中からオンラインで就職活動を開始。フィリピンは時差が少なく一時帰国もしやすかったのも、無理なく勉強と両立することができました。中長期留学は目的意識が大切で、自分で納得できる明確な理由があれば、苦勞を乗り越える力になるはずです。

履修科目: 4科目 住居: 学生寮 奨学金: トビタテ! 留学JAPAN奨学金(12万円/月) 支出: 約9万円/月



オーストラリアの社会福祉を学ぶ

岡田 咲 4年 群馬県 出身

留学先: オーストラリア / ウェスタンシドニー大学

もともと福祉分野に興味があり、多文化社会学部の講義に加えて、独学で福祉の資格試験対策にも取り組んできました。海外の社会福祉について現地で学びたいという気持ちから、多文化主義で様々な国籍の人が集まるオーストラリアに長期留学しました。留学先の大学では社会福祉学科の講義を中心に受講。英語による会話はスムーズにできたものの、福祉の専門用語や法律の理解にかなり苦勞しました。幸い寮のルームメイトとの交流が盛んで、普段から積極的にディスカッションしていたことが学びの糸口になりました。現地の福祉制度やケアの現場を実践的に学ぶことで、日本と異なる歴史や文化が土台となっていることを実感しました。

オーストラリアは明確な目的を持って仕事や勉強に励む移住者・留学生が多く、自分も目標に向かって努力する上で大きな励みになりました。留学前から早めに就職活動に取り組み、計画的に単位を取得。帰国後に面接試験を受けて、将来は児童指導員として日本で働く予定です。これまで培ったグローバルな経験や考え方を、自分らしく子どもたちに伝えていきたいです。

履修科目: 8科目 住居: 学生寮 奨学金: JASSO(9万円/月) 支出: 約20万円/月



Visit our
website
for details



海外協定先(令和8年4月1日)

長崎大学には世界各地に海外協定先があります。夢や目標を持って世界へと飛び出していく学生を支援するため、今後も、さらに海外協定先のネットワークを広げていきます。

※〇はこれまで派遣実績がある協定校(令和8年4月1日)

【中国】
○華東師範大学
○陝西師範大学
吉林大学
西北大学
○北京外国語大学
天津師範大学
中国社会科学院大学
大連外国語大学

【台湾】
亞洲大学
○国立政治大学
○国立台湾大学
国立台湾師範大学
成功大学
中国文化大学

【フィリピン】
○アテネオ・デ・マニラ大学
○フィリピン大学ディリマン校

【韓国】
○東国大学校

【イギリス】
○アバディーン大学
○オックスフォード・ブルックス大学
○キール大学

【ドイツ】
○ゲオルク・ジモン・オーム大学ニュルンベルク
(ニュルンベルク工科大学)

【オランダ】
○ライデン大学
○ラドバウト大学

【ベルギー】
○モンス大学
○ルーヴェン・カトリック大学

【フランス】
○パリ東=クレティユ大学

【イタリア】
○カ・フォスカリ大学

【ポルトガル】
○新リスボン大学

【イラク共和国】
スレイマニ工科大学

【インドネシア】
インドネシア大学

【タイ】
チェンマイ大学
○チュロンコン大学
○タマサート大学

【マレーシア】
○テイラーズ大学
マレーシア大学サバ校

【ブルネイ】
○ブルネイ・ダルサラーム大学

【オーストラリア】
○ウェスタンシドニー大学
○エディスコウワン大学
○サンシャインコースト大学
○サザンクロス大学



多様性を重視する
学部の方角性が
国際協力と一致

浦田 愛梨 2025年卒業

JICA（独立行政法人国際協力機構）
社会動態コース

現在は東京本部の人事部に所属しており、インターンシッププログラムの運営や採用イベントの対応、広報活動など、幅広い業務に取り組んでいます。世界規模で活動するJICAは事業内容の奥が深く、人事部の業務を通じて組織の全体像を把握できています。国際協力に関心を持つ学生と接する機会が多くありますが、大規模なプロジェクトを動かすJICAだからこそできる開発協力の特徴をきちんと伝えられるよう心がけています。

実家の農業に携わる技能実習生たちと家族のように過ごしていた経験がきっかけで、3年次にフィリピンの大学へ留学。社会学を中心に学びながら、移民や海外就労の背景を知るためにフィールドワークを実施しました。そうした中で現地のJICA関係者から話を聞く機会があり、次第にフィリピンでお世話になった人々へ恩返しをしたいという気持ちが高まっていったことから、国際協力の仕事に興味を持つようになりました。今後は国内外の拠点で様々なプロジェクトに携わり、教育や多文化共生、地方創生といったテーマで開発途上国に貢献したいです。多様性が学びの土台となる多文化社会学部は、世界各国に展開するJICAの事業と親和性があり、様々な文化を受け入れる姿勢も自然と身につけられる恵まれた環境だと思います。



社会に対する
問題意識が
学びを深める糸口に

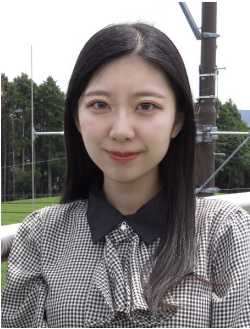
村上 文音 2024年卒業

日本放送協会 就職
言語コミュニケーションコース

ディレクターとしてニュース番組の特集企画を制作や、高校野球や選挙などの中継番組の取りまとめなどを担当。まだまだ目の前の仕事に精一杯ですが、番組を通して取材した方に喜んでいただけたら、放送後に反響があったりすると嬉しいです。もっと経験を重ねて、人の感情の動きをなるべくそのまま番組として伝えられるようになりたいです。

長崎で生まれ育ち平和学習に強い関心を持っていたことがきっかけで、在学中に核兵器廃絶長崎連絡協議会が主催するナガサキ・ユース代表団に参加しました。こうした経験を社会人として活かしたいと、就職活動はマスコミ業界に集中。行き詰まって悩む時期もありましたが、いろんな人とたくさん話をする中で、自分らしくいることの大切さを再発見することができました。

多文化社会学部では幅広い専門分野を学んだ上で、その中から自分の興味のあるテーマを深掘りしていくことができます。社会に対する自分なりの違和感や問題意識がヒントになると思います。そしてユニークな学生や先生方が多いのも特徴で、人と違うことを互いに認め合えるような雰囲気が最大の魅力だと思います。



様々な国の文化が
混じり合う長崎で
国際感覚を養う

村木 萌花 2026年卒業

日本航空株式会社 就職
言語コミュニケーションコース

客室乗務員として入社し、現在は空港近くの訓練施設で訓練を受けています。お客さまのご案内、お食事やお飲み物の提供といったサービス業務をイメージされる方も多いですが、最も重要な業務はお客さまに安全な空の旅を提供することです。緊張感を持ちながら、火災などの緊急時の対応を実践的に学んでいます。訓練合格を目指し、同期と支え合いながら切磋琢磨しています。初めて制服に袖を通した時は、ずっと憧れていた会社の一員になったことを実感でき、嬉しかったです。

人の気持ちの変化に寄り添う仕事がしたいという思いで客室乗務員を目指すようになり、早い時期から情報収集や試験対策に取り組み、インターンシップにも参加しました。就職活動中は飛行機に乗る機会が多く、実際に客室乗務員として働かれている方の姿やあたたかい言葉が、夢に向かう大きな励みになりました。

多文化社会学では実践的な英語を学べるだけでなく、異なる文化や歴史、宗教などを踏まえたグローバルな視点を身につけられます。そうした知識や考え方は現在の仕事にも直接的に役立つと感じていますし、様々な国の文化が混じり合った長崎という土地で大学時代を過ごせたことも貴重な経験となりました。



英語で積極的に
話したくなる
雰囲気の授業を

山本 春 2021年卒業

長崎県公立高校 就職
共生文化コース
※現在は言語コミュニケーションコースのみ、
高等学校教諭一種免許状（英語）が取得可能

在学中に英語の教員免許を取得して、長崎県内の高校で勤務しています。生徒の希望する進路によって英語に対する意欲は様々ですが、授業の進め方や教え方を工夫して、英語の面白さを伝えられるよう試行錯誤しています。また人前で発表することが恥ずかしい生徒も多いので、普段からチャレンジする姿勢を積極的に評価して、失敗しても大丈夫だと安心できる授業の雰囲気を大切にしています。

教育学部という選択肢もありましたが、充実した留学制度や様々な文化を学べる講義に興味があり、多文化社会学部を選びました。実際にカナダとオーストラリアへの留学を通して、国や地域ごとの発音の違いや、自分の気持ちを言葉で相手に伝えることの大切さを感じました。また学外活動として、日本に滞在する外国人の方に英語で日本語を教えるボランティア活動にも参加しました。年代も国もバラバラの相手に教える中で、言葉を通してお互いの距離が縮まったり、文化を深く理解する様子を目の当たりにして、教員という仕事に対する気持ちが強くなりました。今後は授業の中で、気持ちを英語で伝えたり、英語を通して生徒自身の考えを見つめ直す機会を増やしていきたいです。

キャリア教育

Career education

① 個別面談重視:希望進路に合わせて専任のキャリアカウンセラーによる個別指導進路に悩む学生に対する、メンタル面でのフォローアップ

② 座学の授業とインターンシップなどの実践指導の両立

③ 留学中指導の充実(オンライン個別相談、海外キャリアフォーラムにむけた指導)

	1年次	2年次	3年次	4年次
① 個別面談	希望者は随時個別相談			
			ES添削、模擬面接	
			個別面談(必須)	
	・卒業後の進路希望確認			
	・希望業界、職種、勤務地の確認		・応募書類の書き方	
② 授業	キャリア入門	キャリア実践	企業研究	キャリア形成論
	・授業を通じて、自らキャリアデザインする力を養成			
	国際インターンシップ			
③ 講座・セミナー	インターンシップ講座、SPIWebテスト受験会、グループワーク&グループディスカッション、マナー講座 等			
	・自己分析、業界研究、応募書類の書き方、インターンの探し方の指導等		就活座談会	業界研究セミナー
			個別企業/ 公務説明会	
			・先輩の体験談を聞き、質疑応答	

主な進路（2023、2024、2025年度卒業生実績）

【運輸業】

日本航空（JAL）、日本通運（NIPPON EXPRESS）、日本貨物航空（ANAグループ）、九州旅客鉄道（JR九州）、西日本鉄道、ANA福岡空港、福岡空港、ロジスティード、アルプス物流

【メディア・情報通信業】

NHK、読売新聞グループ本社、共同通信社、長崎新聞社、熊本日日新聞、沖縄タイムス社、沖電気工業、デル・テクノロジーズ、日本アイ・ビー・エム・システムズ・エンジニアリング、インターネットイニシアティブ

【金融業・保険業】

三菱UFJ銀行、十八親和銀行、福岡中央銀行、宮崎銀行、鹿児島銀行、三井住友ファイナンス&リース

【商社・小売業】

双日、日鉄物産、伊藤忠ケミカルフロンティア、麻生、ファーストリテイリング（ユニクロ）、ニトリ、良品計画（無印良品）、アイリスオーヤマ

【製造業】

キオクシア（半導体・AI関連）、キャノン、ディスコ、TOPPAN、LIXIL、三菱電機、ダイキン工業、古河電気工業、日産自動車、スズキ、いすゞ自動車、ヤマハ発動機、ダイハツ九州、カワサキモーターズ、エスビー食品、三菱食品、日立建機、ニプロ、フィリップス・ジャパン、エリクソン・ジャパン、カルビー、日本食研ホールディングス、久原本家、東ソー、高砂香料工業、ニチバン、小森コーポレーション、淀川製鋼所、長府製作所、荏原製作所、旭精工

【宿泊業、飲食サービス業、旅行業】

JTB、サイゼリヤ、星野リゾート、星野リゾート・マネジメント、日本旅行、阪急交通社、近畿日本ツーリスト、リージョナルクリエーション長崎

【サービス業】

乃村工藝社、ジャパネットホールディングス、ANAテレマート、日本コンベンションサービス、コンベンションリンケージ

【不動産】

ティーケービー、穴吹ハウジング

【電気・インフラ】

九州電力

【公務・国際協力等】

国際協力機構（JICA）、国土交通省航空局、出入国在留管理庁、中小企業基盤整備機構、大分地方事務局、福岡国税局、長崎税関、長崎県、島根県、茨城県、大分県、沖縄県、福岡市、鹿児島市、筑後市、筑紫野市、北九州市、長崎大学

【進学先(大学院)】

Oxford Brookes University (International Business Management) (英国)、Jagiellonian University MA of IR-PUB（ポーランド）、一橋大学、筑波大学、長崎大学、青山学院大学

14

15

多様な知識と経験を持つ教員との出会いも 多文化社会学部の大きな魅力

多文化社会学部には、海外の様々な文化に通じる日本人の教員と外国籍もしくは外国出身の教員が在籍しています。様々な現場で実務経験のある教員も多く情報に奥行きがあり、実践的な知識が詰まった講義が展開されます。これから多文化社会へと羽ばたいていく皆さんにとって多様なバックボーンを持つ教員たちとの出会いはかけがえのない学びの機会となることでしょう。

※[]内は教員の主な開講科目名です。 ※科目名は変更となる可能性があります。 ※教員情報は、令和8年5月1日現在のものです。



教授
野上 建紀
NOGAMI, Takenori
[陶磁考古学]

専門は考古学。陶磁器を生産した窯、運んでいた船、消費していた都市の遺跡を調べて、「陶磁の道」とも呼ばれる「海のシルクロード」を研究。



教授
木村 直樹
KIMURA, Naoki
[地域史料論]

日本近世政治・外交史(対外関係史)について、長崎を起点に研究。島原の乱や、九州発近世屈指の大飢饉である寛永飢饉についても研究。



教授
小松 悟
KOMATSU, Satoru
[開発経済学]

専門は開発経済学、環境経済学。アジアの途上国を対象として、国の経済開発と環境改善を両立させながら、持続可能な発展のためにはどのような政策が望ましいかを分析。



教授
カトロニ ピノ
CUTRONE, Pino
[異文化間コミュニケーション]

専門は、異文化語用論、応用言語学/TESOL、社会言語学、談話分析。日本におけるEFL(外国語としての英語)の教授法を研究。



准教授
佐藤 美穂
SATO, Miho
[グローバルヘルス]

専門は保健システム研究。質的手法を用いて主にアフリカにおいて人々の健康希求行動や保健医療従事者の動機付けを研究する一方、保健プロジェクトに短期専門家として参画。



准教授
佐藤 靖明
SATO, Yasuaki
[地域生態論]

専門は生態人類学、民族植物学。アフリカ地域にアフリカにおいて人々の健康希求行動や保健医療従事者の動機付けを研究する一方、保健プロジェクトに短期専門家として参画。



准教授
白井 章詞
SHIRAI, Shoji
[キャリア形成論]

大学におけるキャリア教育について、教育効果と問題を調査・研究。若者の職業能力の開発に資する教育プログラムの開発と実践にも取り組む。



准教授
阪野 祐介
SAKANO, Yusuke
[宗教文化論]

専門は人文地理学(宗教地理学)。主に宗教現象を地域や景観、場所の視点から考察。研究対象は近現代日本社会における宗教・信仰が中心。そのほか、東アジア文化論、とくに日韓文化交渉に関する研究。



准教授
西川 美香子
NISHIKAWA, Mikako
[応用言語学(英語)]

英語教育・応用言語(言語テスト)を専門とし、英語学習者の特性やニーズにあった指導法を比較、検証するツールとして、言語テストを用いた研究をおこなっている。



教授
才津 祐美子
SAITSU, Yumiko
[文化資源論]

専門は民俗学、文化人類学。近現代の日本における地域文化の表裏・継承・活用のあり方について、文化遺産保全を中心に研究。



教授
賽漢卓娜
SAIHANJUNA
[異文化と家族]

専門は家族社会学、移民研究、ジェンダー研究。アジアにおける国際と国内の移動現象について質的研究。移動者を主体的に捉え、その目線を重視。



教授
西田 充
NISHIDA, Michiru
[軍縮論]

専門は、国際安全保障、軍備管理・軍縮・不拡散。外務省での核問題における長年の実務経験を活かし、特に北東アジアの安全保障を向上させるための軍備管理や軍縮不拡散といったツールを用いた具体的な方策を研究。



教授
西原 俊明
NISHIHARA, Toshiaki
[コーパス言語学]

専門は、言語学、英語学、応用言語学。英語を中心に、言語に見られる普遍性・個性についてコーパス等を用いて研究。



准教授
南 誠
MINAMI, Makoto
[境界文化論]

専門は歴史社会学、国際社会学。中国帰国者の調査や、満洲の歴史と記憶の国際比較を手がかりに、近代東アジアにおける境界文化の生成と消解について研究。



准教授
森 元斎
MORI, Motonao
[思想史]

専門は、哲学・思想史・文化研究。現代哲学の著作・論文を読解するとともに、そこに潜む人間・社会・自然の問題を分析・研究。



准教授
守田 まどか
MORITA, Madoka
[グローバル文化交流史]

専門は歴史学。イスラム世界、とくにオスマン帝国の都市社会を中心に、多宗教共存のしくみについて研究。



助教
イナキナイ アレーナ ディアン アイリン
YNACAY-NYE, Alayna Deanne Irene
[国際政治経済]

専門は政治経済。主なテーマは、地方のコミュニティへの農村(漁民)の生計、伝統的知識構造、海洋資源への影響を批判的に分析し、民営化と企業の意思決定役割について研究。



教授
葉柳 和則
HAYANAGI, Kazunori
[文化表象論]

専門は文化社会学。主テーマとして多言語国家スイスのナショナル・アイデンティティ、副テーマとして近現代長崎の都市イメージを取り上げ、表象の政治という視点から研究。



教授
廣江 顕
HIROE, Akira
[英語科教育法]

専門は、生成文法の理論的研究。統語形式と意味のミスマッチを主な研究対象としている。また、英語教育法のあり方を、教育現場における現実を踏まえながら研究。



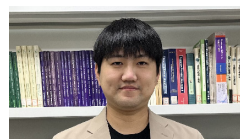
教授
細田 尚美
HOSODA, Naomi
[文化人類学(移民)]

専門は、文化人類学、東南アジア地域研究、移民研究。主にアジアや中東に出稼ぎ中のフィリピン人についての現地調査を通じて、世界情勢や各国の移民政策と、彼らのコミュニティやアイデンティティの変遷との関連を研究。



教授
森川 裕二
MORIKAWA, Yuji
[国際政治学]

国際政治の仕組みが、一体化する世界の中でどのように変化しているのか、国際政治の理論的な基礎を歴史的な背景や現実の社会の動きに照らして研究。



助教
作元 裕也
SAKUMOTO, Yuya
[英語のしくみと意味]

生成文法理論に基づき言語学を研究。英語、日本語、中国語等の言語における差異や類似点に着目し、それに対する理論的な説明を探索。特に、人間の言語計算に関係すると考えられているPhase(e.g.Chomsky (2000))に関連する研究を行っている。



助教
末永 広大
SUENAGA, Koudai
[対照言語学(日英)]

専門は生成文法、英語学、統語論。移動や削除など、言語が普遍的に持つ特性を理論的な観点から研究。



助教
田村 康貴
TAMURA, Koki
[倫理学]

専門は倫理学。19世紀以降のフランスにおける倫理思想や道徳教育を中心に、人間の生やその価値をめぐるさまざまな問題について研究。



助教
寺田 ゆき
TERADA, Yuki
[国際社会学]

多文化主義とシティズンシップをテーマに、多様な人々が生活する社会における平等の問題について考えています。具体的には、移民政策の国際比較、多文化主義の規範理論、日本の移民政策の歴史等を研究。



教授
王 維
WANG, Wei
[異文化交流論]

長崎をはじめ、世界各地におけるチャイナタウン及び華人系社会・文化及び上位社会との交流史、音楽受容史、異文化観光について研究。



准教授
姉川 雄大
ANEGAWA, Yudai
[ヨーロッパ近現代史]

歴史学。主なテーマは近現代東欧(ハンガリー)社会からみた「市民社会」やナショナリズムの問題。特に、「あるべき国民」「あるべき家族」像などの規範によって人々が価値づけ・序列化される政治を社会史的に研究。



准教授
河村 有教
KAWAMURA, Arinori
[国際人権論]

専門はアジア・アフリカ法、刑事法。人権侵害、ジェンダー問題、核兵器廃絶・禁止含む平和の構築維持について探究。刑事手続、ハラスメントいじめ調査、懲戒処分手続、CDR等手続きについてのルールのある方も研究。



准教授
ギェルベヤズ アブドゥルラッハマン
GUELBEYAZ, Abdurrahman
[メディア・スタディーズ]

専門は、言語学、社会学、記号論、言語社会学、音楽学。言語や同種の記号制度と、社会性、すなわち人間性との相互関係の諸相を研究。



助教
トート ルディ
TOET, Rudy
[Introduction to Japanese Linguistics]

専門は言語学・日本語学。現在、近世の長崎島に滞在した外国人たちが残した日本語研究資料を歴史、日本語学史、言語学の各観点から研究。



助教
新山 聖也
NIIYAMA, Seiya
[日本語学]

専門は日本語学。結果状態表現を中心に、日本語文法の研究を行う。ライブ配信や漫画のタイトルなど、メディアやジャンルと言語の関係も研究している。



助教
福田 紗耶香
FUKUDA, Sayaka
[異文化理解教育]

専門は、比較教育学、教育学。オランダをフィールドとして、移民の子どもをはじめとする社会的に不利な立場におかれた人々の教育格差を是正するための就学前教育の取り組みおよび制度を研究。



助教
李 頌雅
LEE, Song-Ya
[日本語教育]

専門は指導と学習の相互行為に関するマルチモーダル会話分析。日本人学生と外国人留学生の授業外学習活動における相互理解の達成を研究。近年は身体的技術の指導と学習の相互行為に関する研究を行っている。

互いを知り

絆を深める寮生活

国際学寮ホルテンシア

多文化社会学部生を含む希望者※は、ルームシェア形式で共同生活を送ります。様々な文化背景を持つ者同士が、日常とともにすることで深い絆が生まれます。

※希望者多数の場合は入居できない場合があります。



国内外から集まる
様々な学生たちとの
共同生活や催しから
自然と仲が深まる

嶺井 花音 2年
沖縄県立首里高等学校 出身

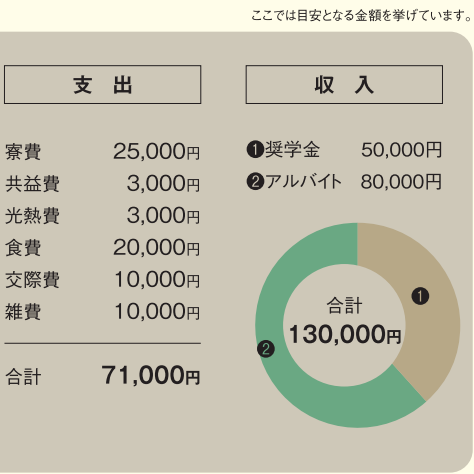
留学生との共同生活ができることは多文化社会学部を選んだ理由の一つで、入学前から寮生活を楽しみにしていました。私のユニットは日本人学生3人と韓国人留学生1人という構成で、K-POPという共通の話題からすぐに打ち解けることができました。掃除や家事など生活に関するルールと役割分担は、入寮して早いうちに話し合って決めました。定期的に交代しながらみんなで協力することで、スムーズに寮生活を送ることができました。また集会室では様々な留学生と交流する機会があり、ハロウィンやクリスマスなど季節ごとのイベントも盛んだったので、ユニットを越えていろんな国の学生と仲良くなることができました。

学生生活に慣れてくると、サークル活動やアルバイトなどで一人ひとりの生活リズムが異なってきますが、個室のあるルームシェア形式なので自分の時間も大切にすることができます。家具や家電、インターネット環境が備え付けなのもすごく助かりました。2年次になった現在も寮での生活が続けています。一人暮らしをするよりも家賃や生活費を抑えられる分、計画的にお金を貯めて今後の長期留学に備えたいと思います。

スケジュールの一例（1年次前期の1週間）

Weekly schedule	1年次前期の1週間の時間割						
	月	火	水	木	金	土	日
1校時 (8:50～10:20)					国際公共政策入門 (政治)		
2校時 (10:30～12:00)		情報リテラシー 入門	Listening & Speaking I		多文化社会学の 諸問題		
3校時 (12:50～14:20)		中国語 I	病気を診る 病理学の魅力		オランダ・ヨーロッパ 研究入門		
4校時 (14:30～16:00)	Reading & Writing I	Listening & Speaking I	病気を診る 病理学の魅力	Reading & Writing I		休み	休み
5校時 (16:10～17:40)		初年次セミナー					
6校時 (17:50～19:20)		古文書の 勉強会					

学生の収支例



Student's Voice 学生の活動

原爆被爆者の体験記を朗読
事実を伝える大切さを実感

本城 舞 3年
オランダ特別コース

大分県立大分上野丘高等学校 出身



「永遠の会」若手メンバーによる朗読会で被爆体験を朗読しました。これまで培ってきたアナウンスの技術を活かしています。

私は国立長崎原爆死没者追悼平和記念館で被爆体験記の朗読を行う「永遠(とわ)の会」に所属しています。毎月9日の11時2分に合わせて開催される朗読会の司会をしたり、実際に体験記を朗読したりしています。高校の放送部ではアナウンスに取り組み、全国大会にも出場。大学でもアナウンス部で活動しており、これまで培った読む技術を発揮できないかと思い参加しました。原爆や被爆体験について、長崎に来る前は教科書で学んだり親族から聞いたりした知識が中心でした。実際に被爆された方の体験を朗読し、長崎出身の高校生や

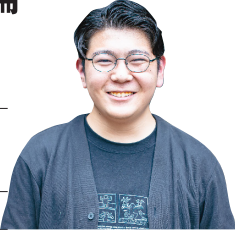
大学生と関わっていく中で、より自分なりの視点で考えるようになったと思います。

アナウンスも朗読も発声・滑舌の技術は共通していますが、朗読は場面ごとに強弱をつけることが大切です。聞き手が情景を鮮明に想像できるような表現方法を意識しています。被爆という事実が記録されていても、それを伝える人と技術がなければ目に触れる機会が失われてしまいます。朗読を通して、今の世界と比較しながら当時のことを想像するきっかけを作りたいと思います。

模擬裁判で海外大学と弁論
国際法から論理的に主張

菅原 温人 4年
国際公共政策コース

愛知県立豊田北高等学校 出身



河村ゼミの学生が集まり長崎チームを結成。国内外から集まった代表者の英語での口頭弁論は、多くの学びがありました。

高校時代に見た国際紛争に関するニュースがきっかけで法律に興味を持ち、グローバルな視点で国際法を学べる多文化社会学部を選択。国際人権論が専門の河村ゼミに所属して、2024年に広島で開催された第29回ステットソン国際環境法模擬裁判大会東アジア地区ラウンドに長崎大学チームとして出場しました。仮定の事案に対する主張を実際の国際法を参考にまとめ、英語で口頭弁論を行います。海外大学やロースクールも参加し、各チームが申立人・被申立人となって競い合います。私は事前の文書作成や当日の書記を担当。論理的

な主張を英語で組み立てるのに苦労しましたが貴重な経験となりました。また同じ事案でもチームごとに着眼点や弁論のアプローチが異なり興味深かったです。

法律の知識はまだまだ勉強中ですが、多文化社会学部で普段から英語で考えて発言する習慣を身につけていたことが役立ちました。参考文献を調べる際にも、英語が使えることで選択肢が大きく広がります。英語開講科目も多く、興味のある分野を日本語・英語の両方で学べることで、こうした学外活動にも積極的に取り組める環境だと思います。

CHODAI(長大) LIFE

勉強はもちろんサークル活動や学内・地域イベントにも参加してキャンパスライフをより充実したものにしていきましょう。

写真提供：©(一社)長崎県観光連盟

4 April	5 May	6 June	7 July	8 August	9 September	10 October	11 November	12 December	1 January	2 February	3 March
入学式 新入生オリエンテーション 前期授業開始 新入生研修	開学記念日		オープンキャンパス 前期授業終了 前期定期試験	夏季休業	短期留学 海外インターンシップ フィールドワーク実習 (海外/国内)	後期授業開始	学園祭 ホームカミングデー	冬季休業	新春もちつき大会	後期授業終了 後期定期試験 卒業論文発表会	短期留学 海外インターンシップ 春季休業 卒業式
	稲佐山つつじまつり	あじさいまつり	ながさきみなとまつり 長崎ベーロン選手権大会 祇園祭	長崎夜市 原爆の日 精霊流し	中国盆 長崎居留地まつり 孔子祭	長崎中華街中秋節 長崎くんち YOSAKOIさせぼ祭り ハロウィンパーティ			のもさき水仙まつり	ランタンフェスティバル	

令和9年度(2027年度)入試情報

求める学生像

- 専門科目の学修の基盤となる高等学校卒業程度の基礎的・基本的知識を有している。
- 英語を主とする外国語の運用能力の基礎が充実している。
- 世界規模の多種多様な考え方や価値観を尊重しつつ、それらについて批判的に思考できる基礎を有する。
- 世界の多文化状況を客観的に捉え、見出された課題の解決に向けて論理的に思考できる基礎を有する。
- 自らの考えを整理し、表現するライティング能力(文章力)を有する。
- 多様な人々と共生的な関係を築き、協働する為に必要なコミュニケーション能力・自己表現力の基礎を有する。
- 世界の多文化状況や異文化交流に興味・関心を持ち、グローバルな視点で自ら学ぼうとする意欲がある。

Visit our
website
for details



入学者選抜の基本方針

多文化社会学部の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎的・基本的知識と教育課程を通して育成される、論理的批判的思考力・判断力・表現力を評価します。また、入学後のカリキュラムを考慮して、選抜にあたっては英語を主とした外国語の運用能力と、多文化状況や異文化への興味・関心、学ぶことへの意欲も重視します。

募集人員

学部	学科等	入学 定員	募集人員						
			一般選抜 前期日程	総合型選抜I		学校推薦型 選抜II	外国人留学生 選抜	帰国生徒 選抜	合計
				一般枠	グローバル・国際バカロレア枠				
多文化社会学部	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	100	72	6*	1*	15	若干人	若干人	94
	オランダ特別コース		3	3			若干人	若干人	6
	計	100	75	9	1	15	若干人	若干人	100

※一般枠、グローバル・国際バカロレア枠のいずれかの枠の合格者数が募集人員に満たない場合は、その不足した人員をもう一方の枠の募集人員に加えて、最終的に各枠の合格者を決定する。

一般選抜

※詳細は、11月下旬頃発表予定の「令和9年度一般選抜学生募集要項」をご覧ください。

学力検査等の 区分・日程	コース名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接又は ペーパー・ インタビュー	調査書	配点合計
【前期】 2月25日 (木)	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	国 地歴	【5教科5科目】 国 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」 「地総/歴総/公」 「公,倫」,「公,政・経」 から1科目(注1)	外	英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ,論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ	共通テスト	100	* 50		* 50		200	20				420
				その他	小論文 ペーパー,インタビュー	個別学力検査等					200		200	30	30	460	
		公民 数	「数Ⅰ」,「数Ⅰ,数A」 「数Ⅱ,数B,数C」 「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」, 「物理」,「化学」,「生物」,「地学」 英,独,仏,中,韓から1 情報Ⅰ から1(注2)	外	英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ,論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ	共通テスト	100	* 50		* 50		200	20				420
	その他	小論文 面接		個別学力検査等					200		200	30	30	460			
	理	計		100	* 50		* 50		400	20	200	30	30	880			
	オランダ特別コース	外 情	外	英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ,論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ	共通テスト	100	* 50		* 50		200	20				420	
その他			小論文 面接	個別学力検査等					200		200	30	30	460			
						計	100	* 50		* 50		400	20	200	30	30	880

※「地理歴史、公民(以下、「地歴・公民」という。)」及び「理科」において2科目を選択する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」とする。
なお、上記のとおり、「地総/歴総/公」及び「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」については2つを選択解答するため、選択解答した2つを1科目として採用する。

(注1) 地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。
(注2) 数学及び理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合は、高得点科目を採用する。ただし、理科については第2解答科目は採用しない。

総合型選抜I

※詳細については、7月上旬頃発表予定の「令和9年度総合型選抜学生募集要項」をご覧ください。

試験日
(第2次選考)

令和8年10月10日(土)

選抜方法等

自己推薦書、諸活動の記録、調査書等、個人面接及び筆記試験の結果を総合して合格者を決定します。

一般枠の出願には、TOEFL iBT(Home Editionを含む。)従来スコアの場合は61点以上、総合バンドスコアの場合は3.5以上、TOEFL ITP 500点以上、TOEIC L&R 730点以上、TOEIC L&R+TOEIC S&W 1000点以上、実用英語技能検定(英検、英検CBT又は英検S-CBT)準1級以上、IELTS 5.5以上、GTEC(4技能版)1140点以上又はTEAP 334点以上のいずれかのスコア・級を必要とする。
(注1) 外国語検定試験は、令和6年9月以降に受験した試験に限る。ただし、実用英語技能検定(英検)については、二次試験を令和6年9月以降に受験した試験とする。
(注2) 外国語検定試験は公式スコアに限る(ただし、TOEFL ITPについてはこの限りではない。)。
なお、TOEFL iBT(Home Editionを含む。)はTest Dateスコアのみを対象とし、TOEIC IP及びIELTSのOne Skill Retakeは対象としない。
(注3) グローバル・国際バカロレア枠の出願要件については募集要項をご覧ください。

帰国生徒選抜

※詳細については、7月上旬頃発表予定の「令和9年度帰国生徒選抜学生募集要項」をご覧ください。

試験日

令和8年11月11日(水)

選抜方法等

提出された書類及び面接(日本語及び英語による)の成績の結果を総合して合格者を決定します。

出願には、TOEFL iBT(Home Editionを含む。)従来スコアの場合は75点以上、総合バンドスコアの場合は4.0以上、TOEIC L&R 750点以上、実用英語技能検定(英検、英検CBT又は英検S-CBT)準1級以上又はIELTS 6.0以上のいずれかのスコア・級を必要とする。
(注1) 外国語検定試験は、令和6年11月以降に受験した試験に限る。ただし、実用英語技能検定(英検)については、二次試験を令和6年11月以降に受験した試験とする。
(注2) 外国語検定試験は公式スコアに限る。なお、TOEFL iBT(Home Editionを含む。)はTest Dateスコアのみを対象とし、TOEIC IP及びIELTSのOne Skill Retakeは対象としない。

外国人留学生選抜

※詳細については、9月上旬頃発表予定の「令和9年度外国人留学生選抜学生募集要項」をご覧ください。

試験日

令和8年11月11日(水)

選抜方法等

「TOEFL等の成績」、「日本留学試験(日本語、総合科目及び数学コース1)」、「面接(日本語及び英語による)」の得点を総合して合格者を決定します。

出願には、TOEFL iBT(Home Editionを含む。)従来スコアの場合は61点以上、総合バンドスコアの場合は3.5以上、TOEIC L&R 730点以上又はIELTS 5.5以上のいずれかのスコアを必要とする。
(注1) 外国語検定試験は、令和6年11月以降に受験した試験に限る。
(注2) 外国語検定試験は公式スコアに限る。なお、TOEFL iBT(Home Editionを含む。)はTest Dateスコアのみを対象とし、TOEIC IP及びIELTSのOne Skill Retakeは対象としない。

学校推薦型選抜II

※詳細については、9月上旬頃発表予定の「令和9年度学校推薦型選抜学生募集要項」をご覧ください。

試験日

令和8年11月28日(土)

選抜方法等

高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入学共通テストの成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定します。

コース名	大学入学共通テスト指定教科・科目	
	教科等	科目名等
国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	国 地歴 公民 数 理 外 情	国 「地総, 地探」, 「歴総, 日探」, 「歴総, 世探」, 「地総/歴総/公」 「公, 倫」, 「公, 政・経」 「数I」, 「数I, 数A」, 「数学II, 数学B, 数学C」から1(注2) 「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」, 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1(注3) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 情報I [6教科6科目]

※「地総/歴総/公」及び「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」については2つを選択解答するため、選択解答した2つを1科目として採用する。
(注1) 地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。
(注2) 数学を2科目受験している場合は、高得点科目を採用する。
(注3) 理科を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。

大学入学共通テスト・学力検査等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	個人 面接	志望 理由書	調査書	推薦書
共通テスト	80	* 40		40	40	80	10				290
学力検査等								170	30	(注1)	(注1)
計	80	* 40		40	40	80	10	170	30		490

※配点に*印を付してある教科は選択科目を表す。
(注1) 調査書と推薦書については、面接の中で評価をおこなう。

令和9年度(2027年度)
入試については長崎大学
入試情報サイトをご覧ください。

